

## 「多くの人の笑顔のために」

- 重症心身障がい、難病、長寿医療を柱とし、地域に密着した専門医療を提供します。
- 社会的なアプローチを組み入れ、患者中心の心あたまる医療を実施します。
- 臨床研究、教育研修、安全管理をととして、常により質の高い医療を追求します。
- 公益性を確保し、効率的で自立した病院経営を推進します。

## 大切な人と安らぎの時を ～特別室Aのご紹介～

看護部長 藤原 恵子

私たちが大切にしたいこと、それは

“大切な方と一緒に過ごしていただけること”

“入院生活を安心して過ごしていただけること”

あわら病院では、この8月より、入院される患者さまとご家族の皆さまが、安心して過ごしていただけるように、特別室Aを新しく準備し、安らぎの空間とサービスの充実を提供しております。

### 安らぎの空間

山と湖が窓越しに見える、最もステキなお部屋です

応接セット、大型テレビ、チェスト  
電子レンジ、冷蔵庫、流し台、室内シャワー・トイレ  
ソファークラッドで、ご家族もゆったり休めます

### サービスの充実

家族と一緒に夕食サービス

(ご希望日に夕食を1人分追加提供します)

CSセットの提供

(日常生活用品一式を準備しております)

特別室のご利用料金：6,000円／一日(消費税別)

患者さまとご家族の皆さまが安心して過ごしていただくために、家庭的な雰囲気づくりを大切にし、サービスの充実を検討し準備を進めてまいりました。形には見えませんが、『私たちが大切にしたいこと』を理解していただけるように、ケアの提供についても振り返り、心・技・体(志を高く持ち、技術と知識を高めること)を尽くせるよう心がけて参りたいと思います。

急性期から終末期まで、あわら病院に入院される方なら、どなたでもご利用いただけます。できる限り多くの方にご利用いただきたいと考えておりますので、お気軽にご相談ください。



病室の風景



病室の窓から見える風景

## ポリファーマシーの改善に向けた取り組み



薬剤科長  
坂本 泰一

ポリファーマシーとは、明確な定義はありませんが必要以上の薬が投与されている、あるいは不必要な薬が処方されている状態と言われています。特に多いのは高齢者のポリファーマシーで、複数の疾患や副作用に対して処方を重ねているうちに

薬の種類が多くなってしまったり、症状が無くなっているにもかかわらず薬の服用を続けてしまっていることがあります。

ポリファーマシーが引き起こす問題点としては、多剤服用による副作用の増加、薬の理解不足による飲み間違いや残薬の増加、患者さんの負担額の増加や国の医療費の増大等が挙げられます。

ポリファーマシーの改善に向けて、患者さんが取り組

める対策としては、お薬手帳を病院や薬局に提示することで、似たような効果効果の薬が重なって処方されないようにすることができます。また、医師は、患者さんが処方された薬を飲んでいることを前提に治療方針を決めますので、残薬がある場合は服用状況を正確に医師や医療スタッフに伝えることが大切です。

当院においても、ポリファーマシーの改善を今年度の病院目標に掲げています。現在、薬剤科では入院時の持参薬鑑別報告などでポリファーマシーの改善提案を行っています。患者さんとの信頼関係が不可欠ですが、医師や他の医療スタッフと連携して、高齢者にはリスクが高い薬剤の中止、腎機能低下による腎排泄型薬剤の中止、

処方目的が不明な薬剤の中止等を提案し、ポリファーマシーの改善に向けて積極的に介入していきたいと考えています。



## 当院における血液腫瘍・がん医療

血液・腫瘍内科医師 大槻 希美

当院では急性白血病をのぞく悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ球性白血病などの悪性疾患、骨髄増殖性疾患、その他血液疾患に対応しております。急性白血病に関しては対応可能な施設と連携しており、速やかに紹介させていただきます。

化学療法は長期にわたることが多いため初回治療を行った後の化学療法をご自宅から近い当院で受けたいとご希望されるかたもい

らっしゃいます。当院には無菌室が2室あり、無菌管理が必要となる化学療法も行っていますのでよりご自宅に近い場所

での治療が可能となります。治療中の突然の発熱を含む合併症などにも対応しております。

また、病気そのものが落ち着いていて経過観察中であるものの通院が困難な方には訪問看護・診療も行っています。

当院では緩和ケアにも尽力しており緩和ケアチームにはがん緩和療法認定看護師1名、臨床心理士1名在籍しております。さらに栄養士、リハビリスタッフを交えたカンファレンスを週1回行い治療初期から緩和ケアを併用しています。

さらに今年当院の特別室が改装されました。ゆったりとしたお部屋で治療・療養が可能となっておりご家族と過ごすことも可能となっております。詳細につきましては当院にお問い合わせください。





# 地域医療連携施設のご紹介

あわら病院と連携している医療機関等をご紹介します

## 横垣クリニック



あわら市の横垣にある有料老人ホーム「ケアハイツ芦原」に隣接する「横垣クリニック」です。平日の午前9時より午後1時、「ケアハイツ芦原」の入居者様を中心に、一般内科診療とリハビリテーションを行っております。あわら病院をはじめ急性期の病院から「ケアハイツ芦原」にご紹介いただいた患者様の、その後の診療をさせていただいております。また、あわら病院の先生方には、肺炎や心不全の増悪など重症の患者様について、大変親切なご対応をいただいております。特に、津谷院長先生にはリウマチ関連や血液疾患で、見附先生には循環器疾患で、多くのご指導ご鞭撻を頂いております。地域の皆様の健康で幸せな暮らしを守るお手伝いをさせていただくため、今後とも変わらぬお力添えを賜り、このように良好な連携を継続させていただければ幸いに存じます。

院長 竹内 典子



### 横垣クリニック

〒910-4113 福井県あわら市横垣18-11  
TEL (0776) 78-7097 FAX (0776) 77-8550

診療科目：内科、循環器科、リハビリテーション科  
診療時間：午前9時～午後1時  
初診：随時受付(なるべく事前にご連絡下さい)

診療日：月～金  
休診日：土曜日・日曜日・祝日  
再診：(原則的に予約制)

## この夏も中学生職場体験学習がありました！

庶務係長 古谷 崇

あわら病院では、毎年地元の芦原中学校の進路学習の一環として実施される「職場体験学習」に協力しています。今年も5名の中学生が、8月9日、8月10日の2日間の実習に来られました。

職場体験のスケジュールは例年通り、初日は「病院で働くいろいろな職種を知る」をテーマとした各職場の見学、2日目は実際に体温・脈拍・血圧を測定したり、AEDに触れてみたり、高齢の方の身体機能の疑似体験や、個々人の希望する職場での実習を行ってもらいました。中学生の皆さんは病院内の職業の多様さに驚き、リハビリテーション科、薬剤科、放射線科での実習を真剣に、かつ笑顔でこなしていました。毎回のことですが、中学生の積極的な様子を見ると、こちらも自然に

明るい気持ちになります。

2日目最後の意見交換会で、「将来なりたい職種以外にも興味が出てきて、迷う」といった感想がありました。迷い、考えることは視野を広げることにつながります。迷うことは若者にとって大切なこと。大いに迷い、悩み抜いて、将来、納得する仕事に就くことを願っています。

あわら病院は、これからも「多くの人の笑顔のために」という基本方針のもと、地域の活動へ積極的に貢献していきたいと思います。



車イス体験。介助される立場、行方立場、両者の気持ちを体験してもらいました。



放射線科にて。装置の説明の合間に1枚。



2日間の実習を終えて。緊張から解放され、いい表情です。

## 外 来 担 当 医 表

(平成28年10月1日現在)

| 診療科 |           | 月     | 火     | 水          | 木        | 金     |
|-----|-----------|-------|-------|------------|----------|-------|
| 総 合 | 内 科       | 津 谷   | 鈴 木   | 大 槻        | 見 附      | 清 水   |
|     | 小 児 科     | 大 坂 * | 川 満 * | 大 坂 *      | 湯 浅 *    | 村 井 * |
| 専 門 | リ ウ マ チ   |       |       | 津 谷        | 津 谷      |       |
|     | 血 液 ・ 腫 瘍 |       |       | 浦 崎 *      | 大槻(第2・4) |       |
|     | 痛 風       |       |       |            | 津 谷 *    |       |
|     | 生 活 習 慣 病 |       |       | 鈴木(第1・3)   |          |       |
|     | 老 年       |       |       | 桐場(第2・4・5) |          | 栗 田   |
|     | 神 経       |       |       | 林(第1・3・5)  |          |       |
|     | 循 環 器     | 見 附   | 見 附   |            |          |       |
|     | 外 科       | 齊 藤   | 齊 藤   | 齊 藤        | 齊 藤      | 齊 藤   |
|     | 整 形 外 科   | 下 崎   |       |            |          |       |
|     | 眼 科       |       |       |            | 吉 岡 *    |       |
|     | 皮 膚 科     |       | 若 原   |            |          | 若 原   |
|     | 地 域 ケ ア   |       | 桐 場   |            |          |       |
|     | 禁 煙 外 来   | 見 附   | 見 附   |            |          |       |

● 受付時間8:30～11:30 ● 黄色枠は予約制 ● \*印は午後診察 ● 休診日／土・日・祝日・年末年始

※皮膚科の診察は、火曜日・金曜日の午前中(9:00～11:00)です。

※神経内科の診察は、第1・3・5水曜日(8:30～11:30)です。

※専門内科の午後診察は、14:00～16:00です。

※禁煙外来の診察は、月曜日(8:30～11:30)・火曜日(10:00～12:30)です。

## 栄養管理室便り

栄養管理室 主任栄養士 内川 厳志

前々回の記事(第61号)にて「入院患者さんに美味しいお食事を届ける事は、栄養管理室の使命の1つ」とお話しさせて頂きました。栄養管理室では、「美味しいお食事」のより充実したサービス提供のため、平成28年8月1日より、特別室Aにご入院期間中、ご家族1名分の夕食を、ご希望日に合わせて患者さんのお食事と一緒に病室へ配膳させていただくサービスを開始いたしました。

ご家族の方はお食事を召し上がりながら、夕方のひとときをお過ごしいただければと思います。栄養管理室では、これからも「美味しいお食事」のさらなるサービスの充実に努めてまいりたいと思います。



〈イメージ〉

## 独立行政法人 国立病院機構 あわら病院

福井県あわら市北潟238-1 TEL.0776-79-1211(代表) FAX.0776-79-1249  
 〈地域医療連携室〉 TEL.0776-79-1212内線(785) FAX.0776-79-1261  
 URL <http://www.awara-hosp.jp/>

【診療科】内科、小児科、外科、皮膚科、血液・腫瘍内科、リウマチ科、神経内科  
 老年内科、循環器科、整形外科、眼科、リハビリテーション科

【病床数】172床

【教 育】日本内科学会認定教育関連施設、日本血液学会、日本リウマチ学会認定施設

## 交通のご案内

えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅より(5km)

- ①京福バス(北潟花菖蒲園行き、あわら病院前下車)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

JR北陸本線芦原温泉駅より(10km)

- ①京福バス(あわら湯の町駅で乗換)
- ②乗合タクシー(デマンド交通) [事前予約が必要]

※出発時間は、受付に備え付けの時刻表、  
 またはホームページ(交通案内)をご覧ください。